

コード	名 称	区分	コード	名 称
事業名	429 保健衛生事務経費	会計	01	一般会計
		款	04	衛生費
		項	01	保健衛生費
		目	01	保健衛生総務費
基本 施策	01 10万市民の健康を維持する	細目	239	保健衛生事務経費
		細々目	01	保健衛生事務経費
行革大綱の重点事項番号				
担当部署	コード	130900		担当者
	名称	健康福祉部 健康推進課		氏名
			入本 理	連絡先
			22 - 9653	(内線) 2713

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	市民	※対象件数
成果(どうする)	市民の健康づくりのための体制整備と推進につながる。	
根拠法令・要綱等	予防接種法・伊賀市健康づくり推進条例	
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
H21 事業 内容	健康づくり推進協議会の開催・予防接種健康被害給付金の支給事務	
社会情勢 の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
協議会開催		回	目標	3	目標	2
			実績	2	実績	2
協議会公募委員数		人	目標	2	目標	2
			実績	3	実績	1

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
協議会委員出席率		出席委員数/委員総数	%	目標	80	目標	80
				実績	72	実績	91
				目標		目標	
				実績		実績	

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)		(千円)		(千円)		(千円)	
直接事業費計 (A)	7,411		6,864		6,927		6,927	
Aの 財源 内訳								
国庫支出金								
県支出金	4,358		4,361		4,382		4,382	
地方債								
その他	0		0					
一般財源	3,053		2,503		2,545		2,545	
事業投入人件費 (B)	0.1 人	720	0.1 人	720	0.1 人	720	0.1 人	720
フルコスト(A)+(B)	8,131		7,584		7,647		7,647	

事務事業の評価 (Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	○
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	○
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	○
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
効索性	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
達成度	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	○
	健康づくり事業の基本的な経費であるため必要不可欠である。	
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合は、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
効率性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
	当初設定した計画を 100% 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 無	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】
効果性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求められることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	○
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	健康21計画(後期計画)見直しをするため、保健師・栄養士による健康づくり部会において事業の評価を実施。
【状況】	計画のとおり進んでいる
【詳細】	
昨年度の 取組状況	評価に繋がる課題の洗い出しを行った結果、関係団体とのネットワークづくりの面で不十分であったことが判明。

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	清水 健 司
【方向性】	現状維持
【理由】	保健衛生事務に係る経費であるので、現状維持としたい。
現時点における 課題、その他	健康21計画の評価指標となる目標数値が把握できなくなった項目がある。
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、何 を、どうする)	平成22年度中に評価指標の取り方を見直す。